

これはやがて完成する神の国の光景。この日のために、今から目に見えないなつめ椰子の枝を用意し、それを振る練習をしたいのです。どうやって？ イエスを王とし、信じて罪と死の束縛から解放され、自分らしさを回復し、他者を支配するのではなく愛することによってです。

「神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか」(ヨハネの手紙第一 五・四―五)



キリスト教の基礎知識

【創造】

「はじめに神が天と地を創造された。」(創世記一章一節)

これは聖書の最初に書かれている有名なことばです。分厚い聖書を読み通したことはなくても、冒頭のこの一節だけは読んだことがあるという人も多いのではないのでしょうか。

聖書は唯一の神がこの世界を創造したと教えています。創造の概念はキリスト教信仰の土台となるもので、その神観・世界観・人間観に影響を与えています。この宇宙のすべて、そして私たち人間は偶然に存在しているのではなく、神によって目的をもって造られた存在なのです。

世界が神によって造られた存在であるなら、それは基本的に良いものであるはずですが、実際、聖書には「神は自分が造ったすべてのものを見られた。見よ、それは

非常に良かった。」とあります(創世記一章三節)。人間の罪によって世界には悪が入ってしまいましたが、キリスト教ではこの物質的世界を本来的に良いものと考えます。霊や精神を肉体や物質よりもすぐれたものとするギリシア的な思想が後にキリスト教にも入り込んできました。聖書は人間の肉体を含む物質的世界を決して悪いもの、劣ったものとは見ていません。それらは神によって造られた良いものなのです。

聖書の教える人間の存在意義は、人間とは神と愛の関係を持つために創造された存在であり、同時にまた、神が造られたこの世界を地上における神の代理者として賢く管理する使命を与えられた存在だ、ということですが、重要な関心事となります。



ところで、現代人は「創造」を「creation」というと無から物質を生み出す働きを思い浮かべることができません。キリスト教では神が無から世界を創造したと教えていますが、聖書における創造概念のポイントはむしろ、神が混沌の中に秩序と目的を与えらるお方だ、ということにあります。神はこの世界の秩序を保ち、混沌のあるところに秩序を生み出しておられます。その意味では、創造のわざは今も続いているのです。

聖書が証しする神は創造力に満ちたお方であり、いのちを与えるお方です。コロナ禍を持ち出すまでもなく、この世界には混沌の力が渦巻いています。

その中で日々神が生み出される新しい秩序に生きるために、キリスト教会では、この創造主なる神を毎週礼拝しています。

「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(コリント人への手紙第二 五章一七節)。



★天文ひとくちメモ

今回の話題はこれしかないでしょう。金星、木星、土星です。まずは宵の西低空に輝く金星。今年、七月から一月まで、真西から南西の方向へ移動しつつ、日没時の高度が約二〇度一定という珍しい現象が見られます。日が沈んで夕焼け空になつたらすぐに肉眼で探してみてください。定点観察すると、南(左)へ横に移動する様子がわかります。

次は木星。夜になったら南の空に強烈な明るさで輝く星がすぐに見つけられます。これが太陽系最大、地球の一倍もある木星です。双眼鏡があれば、周囲に四つの衛星が見えます。最後に土星。木星の右(つまり西)少し離れたところにぼつんと見えます。双眼鏡では楕円形まではわかりませんが、望遠鏡があれば立派な輪が観察出来ます。何度見ても、どうしてこんな不思議な形の天体が空にあるのか、興味は尽きません。



【おすすめキリスト教書紹介】 アメリカ人が読んだ三浦綾子

三浦綾子さんの『塩狩峠』は、アメリカ人の私が初めて日本語で読もうとした小説です。高校のときに日本語を学び始め、一年間の交換留学を経て大学で日本語の勉強を続けましたが、それにしても私にとってはかなりのチャレンジでした。知らない言葉はほとんど飛ばし、どうしても調べたい言葉があるときは、分厚いネルソン漢英辞典を手にして、画数を数えながら読み方と意味を調べました。(ネルソンの辞典は、スマホの登場以前に真剣に日本語学習をしていた人なら誰でも知っている優れ物です。)

そのように苦労して読んだ『塩狩峠』でしたが、私も著者の三浦綾子さんと同じクリスチャンとして、そして小説好きな者として、この本に大変感銘を受けました。その後、『氷点』と『塩狩峠』の英訳を入手して読みました。驚くべきことに、三浦綾子さんは八〇冊以上の小説を書いたにもかかわらず、その十分の一も英訳されていません。さらに驚くことには、同じクリスチャン小説家の遠藤周作さんと違って、三浦綾子さんの英訳本はどれも一般の出版社からではなく、キリスト教系の出版社からしか出ていないのです。したがって、三浦綾子さんは日本では多くの人に愛されている著名作家であるにもかかわらず、海外では(日本に関心がある人を除いて)さほど知られていません。(ましてや遠藤さんの『沈黙』のように、超有名監督によって小説が映画化されたこともありません。)

最近また別な三浦綾子さん関係の発見がありました。私の勤務先では、クリスチャンのオーディオコンテンツを制作しています。無料アプリ「聴くドラマ聖書」を出しているところですが、信仰書のオーディオブックも作っています。日本でもオーディオブックの人氣が少しずつ出始めていますが、キリスト教書のオーディオブックはほとんど存在していません。そこで旭川にある三浦綾子文学館の協力を得て、三浦綾子さんが書いた比較的「マイナーな」本のオーディオブック制作を進めています。これらの本は伝記ものが多いのですが、マイナーとは言ってもびっくりするほど素晴らしい本ばかりです。次号からは、三浦綾子さんのこれらの伝記作品を含め、オーディオブックになっているキリスト教書を紹介したいと思います。

<定期集会案内>

★新型コロナ感染拡大防止の観点から、少なくとも緊急事態宣言発令の間は教会堂や地区センターでの集会を休止しています。再開の情報はホームページまたは下記の問合せ先にご確認ください。

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分
- 祈禱会 第2第4水曜日 午後7時30分
- みことばの分かち合い 第1日曜日 礼拝後
- 聖書を読む会(寺尾地区センター) 第1第3土曜日 午後2時

お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師: 関野祐二までどうぞ。

聖書がオーディオドラマになりました!

【配役】

- 大和田伸也 (神)
- 井上 芳雄 (イエス)
- 南沢 奈央 (マリア)
- 加藤 雅也 (モーセ)
- 鶴見 辰吾 (ダビデ)



無料でダウンロードできる スマホアプリ

聴くドラマ聖書

Japanese Drama Bible

Grace & Mercy 日本 G & M 文化財団



聴くドラマ聖書 PC版 : <https://dramabiblejapan.org>